

第7回四極青雲会総会・記念講演および懇親会

平成29年5月13日(土)午後5時半からトキハ会館5階ロースの間で、第7回四極青雲会総会・記念講演および懇親会を開催。総会では28年度の活動報告および29年度の活動方針(案)、28年度の決算および29年度予算(案)、任期(3年)満了にともなう役員改正(案)、その他の案件が一括審議され以下の事項が決定。

(1)年1回の総会と定例会2回の開催にあわせて懇親会をする。(2)会報「青雲」第七号の発刊(3)役員改正については監事の斎藤正行氏(14回)が慣例により交代し、新たに甲斐健文氏(36回)を選任し、その他の役員は全員留任。会長は木本英光氏(1回)、副会長に伊藤隆啓氏(4回)と鯉越英夫氏(21回)

の両氏、事務局長に岩尾明(32回)を選任。大分大学の下田憲雄教授、四極会の相良浩名誉会長、姫野昌治大分銀行代表取締役会長(20回)の3氏には引き続き顧問にご就任頂いた。(4)その他としては、院入学希望者の発掘と勧誘に励むこと、課題研究・セミナーなどの開催にあたり研究科との連携をさらに強化すること、四極会各支部主催の活動に進んで参加すること、母校100周年記念事業に尽力することなどが承認された。事務局から財政基盤強化のため入金金・年会費の会費収入増、会員名簿整理への協力依頼。すべて事前の持ち回り理事会で承認済みでしたので総会は短時間で終了。

記念講演の講師は大分商工会

議所会頭の姫野清高氏。演題は「大分県経済の現状と課題」。姫野氏は昭和25年のお生まれで、(株)桃太郎海苔代表取締役社長を現任されながら、平成21年5月に大分商工会議所会頭ならびに大分商工会議所連合会会長にご就任。優れた経営者であり県内外の経済の現状と課題について精通されておられます。多領域の公的な統計数値を鵜呑みにするのではなく、それぞれの統計数値の奥に潜む経済の実体を鋭く分析され、県経済の発展のための有益な諸方策に関して、鋭いご指摘と建設的なご提案がなされ、極めて有意義なご講演でした。会頭にご就任以来、県経済の発展に多大なご尽力をなされ、多くの公職にも全力で取り組み、多くのおられました。それだけに貴重なお時間を割いて頂き、ご講演賜りましたことにより感謝申し上げます。

講演終了後に一呼吸おいて同会場で懇親会を開催。懇親会には経済学部・四極会本部・青雲会会員あわせて約60名が参加。今回も様々な立ち位置を超えて歓談の輪がひろがり瞬く間に中締めを迎えました。トキハ会館の宴会係の皆様には会場内のサービスや時間延長にも快く応じて下さりありがとうございました。記して御礼申し上げます。

事務局